

1. 科目名（単位 数）	教育方法論（ICT 活用含む）（2 単位）	3. 科目番号	EDTE2104
2. 授業担当教員	金 龍哲		
4. 授業形態	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「教育の方法及び技術」及び「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」		
7. 講義概要	通信技術を利用して「つながる」Society 5.0の社会に生きる児童の「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に向けて、教員としての資質・能力の向上を図り、実践的な指導力を身に付ける教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を学修し、令和の日本型学校教育の学びに資する。		
8. 学習目標	1. 「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」のもととなる「学び」について、探究し、その学びを実現するための方法・技術を利活用できる。 2. 教育現場で実践されているICTの活用事例を学び、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進に生かすことができるように、学び合う。 3. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解するとともに、児童に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための基礎的な指導方法を身に付ける。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	学習前に教科書を読んでくることが好ましい、最低限前時に配布した課題プリントはやってくること。 レポートについては、講義の中で説明を行うが夏季休暇の前に1000字程度、期末に1500字程度のレポートを提出する。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 武田明典・村瀬公胤編著『教育方法論・ICT 活用』北樹出版、2022 年 3 月。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社（都度配布、購入不要）。 【参考書】 文部科学省「ICT 活用実践事例集」（インターネット）の活用 稲垣忠・佐藤和紀編著「ICT 活用の理論と実践 DX 時代の教師をめざして 」北大路書房		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	●成績評価の規準（学習目標） 1. 「何をどのように教え・学ばせるのか」「何が出来ようになるか」という観点から、学びを実現するための方法・技術を習得し利活用できたか。 2. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解し、児童に情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための基礎的な指導方法を身に付ける。 ●評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。学びに向かう態度を重視する。		
12. 受講生への メッセージ	小学校教育の方法の歴史と理論を体系的に概観し、教育の様々な方法とその意味についていっしょに考えましょう		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 教育方法とは ・教育方法の意義と学びとの関係を考え、自己の教育に対する考えを整理する。	事前学習	シラバスを読んで、学修の概要を知る。
		事後学習	「学び」について考えを整理する。
第 2 回	学ぶとは？ ・学ぶとはどういうことかを考えるとともに、学びの発達についてグループで考え発表する。少人数グループでまとめた意見を、タブレット PC や書画カメラを使って発表する。	事前学習	「学びの構造」を読み、感想をまとめる。
		事後学習	ピアジェの「問いと学び」を読み、その関係をまとめる。
第 3 回	言葉と思考 ・「問いと学び」を読んで、学ぶとはどういうことかを考えるとともに、学習指導要領で重視されている「言語活動の充実」・「情報活用能力」との関連についてグループで話し合い、タブレット PC や電子黒板・書画カメラを使って発表する。	事前学習	「学び」とはどのようなものかレポートを書く。
		事後学習	言葉・概念と思考の関係について、まとめる。
第 4 回	学校教育の課題 ・児童の現状や現代学校教育の課題について知るとともに、society5.0 時代に求められる資質・能力について「令和の日本型教育」答申を調べ、グループで話し合い、タブレット PC や電子黒板・書画カメラを使って発表する。	事前学習	教育課題の種類とその原因を調べる。
		事後学習	中教審答申、学習指導要領総則をよみ、授業改善の方向をレポートする。
第 5 回	教育課程の基準と教育方法 「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に向けて、教育方法はどうかあるべきかグループで考え、タブレット PC や電子黒板・書画カメラを使って発表する。	事前学習	中教審答申、学習指導要領総則をよみ、育成すべき資質・能力について概要をつかむ。
		事後学習	「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」について、振り返り、まとめておく。
第 6 回	学習活動の工夫 ・総則「教育課程の実施」を基に、学習過程における、見通しや学習形態の工夫などについて調べ、効果的な学習方法	事前学習	教科書「総則編」を読んでおく。
		事後学習	効果的な学習方法の在り方について、学修したことを整理しておく。

	の在り方をグループで考え、発表する。		
第 7 回	授業の構成要素 ・よい授業を行うために、授業の構成要素について、学生の体験を基に、グループで構成要素を考えさせ、その根拠についてまとめ、発表する。	事前学習	どんな授業に魅力を感じたのか、個々の体験をまとめておく。
		事後学習	授業の計画・設計・実施・評価等に分けてまとめる。
第 8 回	教材教具の活用と条件作り ・良い授業を作るための条件として、教材教具の取扱、情報機器の活用、コンピュータ、電子黒板、デジタル教科書等の活用上の配慮事項、その他の条件作りについて調べ、授業の効率を話し合う、発表する。	事前学習	教材教具の効果について、調べておく。
		事後学習	教材教具の活用と条件作りについて、まとめる。
第 9 回	現代社会における ICT の役割と導入 ・これから生きる児童の基礎的な資質・能力としての ICT のリテラシーをどのように育てるか、話し合い、タブレット PC や電子黒板・書画カメラを使って発表する。	事前学習	教材教具としての情報機器について調べておく。
		事後学習	ICT の利活用に必要な知識を整理して、説明できるようにし、使い方になれるようにする。
第 1 0 回	教師と ICT の利活用 ・教師が職務を通じて、どこでどのように ICT を利活用しているかを、文部科学省のホームページを調べ、どのような活用能力が必要か、まとめ発表する。	事前学習	インターネットで文部科学省のホームページを開き、情報教育の項目を見つけ、どのようなものが示されているか事前に調べておく。
		事後学習	活用事例集で調べた事例を復習しておく。
第 1 1 回	学習場面に応じた ICT の活用 ・「ICT 活用事例集」を調べ、一斉学習、個別学習、協働学習での ICT の使われ方の概要を知り、事例が活用できるようにグループでタブレット等を操作できるようにする。	事前学習	学校では、どのように ICT を使っているのか、インターネットで調べておく。
		事後学習	学習場面に適した使い方ができるソフトを活用して、復習しておく。
第 1 2 回	一斉学習における ICT の活用 ・児童の興味や関心を高めるための教員による教材の提示の仕方や教材の取扱い方について実習を含め学習する。	事前学習	教材の提示をするためのデジタル教材を事前に調べ、自分のファイルに準備しておく。
		事後学習	児童の興味や関心を高めるための教員による教材の提示の仕方について、学習した内容を整理しておく。
第 1 3 回	個別学習における ICT の活用 ・デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや自分に合った進度で学習ができるように指導するためにタブレット、インターネット等の活用の仕方を学ぶ。	事前学習	個に応じる学習について、各教科から内容を調べ、説明できるように整理しておく。
		事後学習	授業で学び合った事例意を整理して、使えるようにしておく。
第 1 4 回	協働学習における ICT の活用 ・教室内の授業や他校との交流学習において、児童同士の意見交換、発表などお互いを高め合う学習ができるようにするためのコンテンツや機器の操作方法などについて学び合う。	事前学習	ZOOM など話し合い活動や発表学習に使えるソフトを探しておく。
		事後学習	どんな学習活動が「主体的で対話的で深い学び」になるか学習からまとめておく。
第 1 5 回	校務の情報化とデータの活用 ・学習履歴（スタディ・ログ）などの教育データを活用して指導や学習評価に活用することや教育情報のセキュリティーの重要性について操作・話し合いをする。	事前学習	働き方改革を推進するために、どのような ICT の利活用があるか調べておく。
		事後学習	情報モラルやセキュリティーの重要性について整理しておく。
期末試験			